

笛を作ろう

～身の回りにあるいろいろな容器を笛にしてみよう～

中根礼美 中道洋友 遠藤友佑 二宮 司

身の回りにあるいろいろな容器（ヤクルトジョア、フィルムケース、トイレトペーパーの芯など）を笛やおカリナに変身させよう。大きい笛や小さい笛をつくって音を比べてみよう。

用意するもの

- ヤクルトジョアのおカリナ
- ヤクルトジョアの容器、大きめのストロー、
- カッターナイフ、セロハンテープ
- その他の笛
- フィルムケース、トイレトペーパーやアルミホイルなどの芯、ペットボトルなど

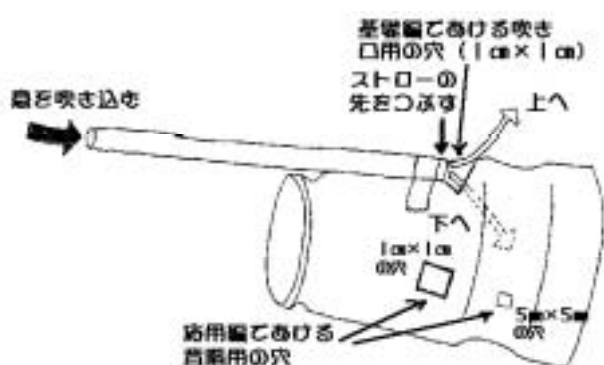
作るときの注意

カッターナイフ（応用編では穴を空けるのでドリル）を使うので手を切らないように十分気をつけよう。

作り方 基礎編

大きめのストローを10cmくらいに切って、片方の先端を指でひらくつぶします。つぶしていない方が吹き口になります。

ヤクルトジョアの容器に図のような穴をあけてください。穴の大きさは1cm×1cmくらいです。中心の穴の場所に図のようにストローをセロハンテープでとめます。そのときストローから出てくる空気が、穴の端にぶつかって二つに分かれるように角度を調整します。これでできあがり！



応用編

基礎編で作った笛に、図のように容器の横に2つの指で押さえるための穴をあけます。穴の大きさは、指でふさぐことができる程度で、1cm×1cm、5mm×5mmくらいがちょうど良いでしょう。こうするとさらに高い音を出すことができます。

いろいろな笛

写真のようにフィルムケース、トイレトペーパーやアルミホイルなどの芯、ペットボトルでも笛をつくることができます。作るときのコツは、ストローから出てくる空気が、容器の空気のはいる穴のカドにぶつかり、2つに分かれるように角度を調節することです。



不思議はどこだ

ジョアの容器でつくった笛とヤクルトの容器でつくった笛を吹き比べて、どちらの音が高い音か調べてみよう。

ジョアの容器でつくった笛の飲み口の穴を手で少しずつふさいでみよう。ふさぐ量が変わると音の高さも変化するが調べよう。

実験のカンどころ

とにかくストローから出る空気を上手に穴のカドにあてて、流れてくる空気を二つに分けることができるかがポイントです。いろいろと角度を変えて、一番よくなる場所を探しましょう。

もっと知りたい人へ

身の回りにあるものでいろいろな楽器を作ってみたい人向けの本
藤原義勝著「リサイクル手作り楽器」日本書籍

なかねあやみ

- なかみちようゆう 北海道羅臼高等学校
- えんどうゆうすけ 北海道標茶高等学校
- にのみやつかさ 羅臼町立羅臼中学校